

厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）
分担研究報告書

1-3 「構造的ソーシャルキャピタルと健康指標との関連の検討」

研究分担者 田淵 貴大（東北大学 大学院医学系研究科）

研究協力者 飯塚 玄明（千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門）

研究要旨

＜目的＞本研究では、若年層、中年層、高齢層における社会参加と健康・ウェルビーイングとの関連、および高齢層における社会参加と高血圧症、糖尿病、脂質異常症との関連を明らかにすることを目的とした。

＜方法＞2022 年、2023 年及び 2024 年の JACSIS（The Japan COVID-19 and Society Internet Survey）研究調査データを用いて、15-79 歳の一般住民を対象に、健康やウェルビーイングを含む 7 領域 29 項目をアウトカムとした年代別のアウトカムワイド分析を行った。また、2022 年の日本老年学的評価研究調査データと健診データを連結し、65 歳以上の地域在住高齢者における社会参加と高血圧症、糖尿病、脂質異常症との関連を検討した。

＜結果＞健康・ウェルビーイングとの関連は年代によって異なり、若年層では就労、中年層・高齢層では地域組織への参加が、一部の健康・ウェルビーイング指標と良好に関連していた。また、高齢者では、社会参加は高血圧症が少ないことと関連し、女性では糖尿病が少ないこととも関連していた。

＜結論＞社会参加と健康指標との関連は年齢層によって異なり、高齢層では生活習慣病との関連も示唆された。

A. 研究目的

高齢者における社会参加の先行研究では、社会参加している者では、死亡・認知症・うつが少ないことが報告されている¹。一方で、若年層や中年層では、社会参加がうつ病の者のうつ症状改善や、身体/発達障害、乳癌患者などの特定の集団に対する研究は行われるものの²、地域在住の全体を対象とした研究は少ない。また、社会参加と心血管疾患のリスクファクターである高血圧、糖尿病、脂質異常症などとの関連は十分に検証されていない。さらに近年では、就労も社会参加の一つと考えられ、健康日本 21（第三次）における社会活動にも就労が含まれている³。就労と健康やウェルビーイングとの関連も指摘されてきているが、まだエビデンスは少ない。そこで本研究では、社会参加を「地域組織への参

加」と「就労」を含む広義の概念として捉えた上で、下記の 2 点を明らかにすることを目的とした。

- 1) 年代毎（若年層、中年層、高齢層）に、地域組織への参加・就労と健康、ウェルビーイングとの関連を明らかにする。
- 2) 高齢層において、就労を含む社会参加と心血管代謝指標との関連を明らかにする。

B. 研究方法

- 1) 年代毎の健康・ウェルビーイングとの関連の検証

2022 年、2023 年及び 2024 年の JACSIS（The Japan COVID-19 and Society Internet Survey）研究調査データを用いて、全国の 15-79 歳の男女 12,607 人の一般住民を対象とし、年代別（若年層：15～

39 歳，中年層：40～64 歳，高齢層：65 歳～79 歳）に分析を行った．アウトカムを複数同時に検証するアウトカムワイドデザインを採用し、目的変数は 2024 年の健康やウェルビーイングを含む 7 領域（29 項目）とした．説明変数は 2023 年の地域組織への参加（スポーツ関係・趣味関係・ボランティア・通いの場の 4 種いずれかの参加）と就労とした．調整変数は 2022 年時点の性，年齢，教育歴，等価所得，同居家族，婚姻状況とし，2022 年時点の目的変数と説明変数も調整した．統計解析は目的変数に応じた線形回帰分析・ポアソン回帰分析・ロジスティック回帰分析を行い，ボンフェローニ補正 $p=0.0017$ ($0.05/29$) を実施した．

2) 高齢者における心血管代謝指標との関連の検証

2022 年の日本老年学的評価研究（Japan Gerontological Evaluation Study: JAGES）調査データと，自治体から提供された健診データを連結し，高齢者における就労を含む社会参加と心血管代謝指標との関連を横断的に検討した．対象は，JAGES 調査に回答し，健診データとの連結が可能であった 65 歳以上の地域在住高齢者とした．

説明変数は社会参加の有無とし，8 種の地域組織への参加および就労のいずれかに参加している場合を社会参加ありと定義した．目的変数は，高血圧症，糖尿病，脂質異常症とした．これらは，健康診断で測定された血圧，HbA1c，脂質の検査値と，自己申告による治療状況を組み合わせて定義した．統計解析では，男女別に層別化し，修正ポアソン回帰分析を用いた．調整変数は，性，教育歴，等価所得，同居家族，婚姻状況，うつ，歩行量，地域への愛着等とした．

（倫理面への配慮）

1) 千葉大学の倫理審査委員会（M10767、

M10785）および東北大学の倫理審査委員会（2024-1-231）の承認を得て実施した．

2) 千葉大学倫理審査委員会（M10460）の承認を得て実施した．

C. 研究結果と考察

1) 年代毎の健康・ウェルビーイングとの関連の検証

就労している者の割合は，若年層で 86.7%，中年層で 78.8%，高齢層で 26.8%であった．一方，地域組織へ参加している者の割合は，若年層で 24.4%，中年層で 22.3%，高齢層で 44.7%であった．就労している者ではいずれの年齢層でも女性の割合が低かった．地域組織へ参加している者では，若年層・中年層で女性の割合が低かった一方，高齢層では女性の割合が高かった．また，地域組織へ参加している者や就労している者では，教育歴が長い者の割合が高かった（表 1）．

若年層において，地域組織へ参加している者では，身体的健康が悪化し，高血圧症，糖尿病が増えていた．友人と会う頻度，友人の数，外出頻度が増加した．就労している者では，生活満足度や道德感，歩行時間が増加し，地域の互酬性が増加した．一方，外出頻度は低下した（表 2）．

中年層では，地域組織へ参加している者では，身体的健康や人生の意味が増加し，友人と会う頻度や友人の数，歩行時間，地域の互酬性も増加していた．一方で，うつ病が増加していた．就労している者ではうつ病は減少し，地域の愛着が増加していた．

高齢層において，地域組織へ参加している者では，身体的健康や delayed gratification が増加し，会う友人の数，歩行時間，外出頻度も増加していた．就労している者では精神的健康，道德感，moral universalism, delayed gratification, 友人関係の満足度が悪化していた．一方で，友人と会う頻度，友人の数が増加していた．

中年層や高齢層での地域組織への参加は健康、ウェルビーイングと良好な関連がみられたが、若年層においては地域組織への参加との良い関連はみられず、就労と健康、ウェルビーイングとの良好な関連が見られた。年齢層によって関連が異なる可能性が示唆された。

一方、構造的ソーシャルキャピタルと認知的ソーシャルキャピタルは概念的に密接に関連しており、先行研究では両者の側面が曝露要因として同時に検討されている。JACSIS2024年調査において、健康日本21（第三次）で目標値が設定された強いつながりに関する項目が導入されたため³、今後は、2023年、2024年及び2025年のJACSIS研究調査データを用いることで両者を曝露因子として考慮した分析が可能であることから、その分析結果を論文化し報告する予定である。

2) 高齢層における心血管代謝指標との関連の検証

社会参加している者は、社会参加していない者と比較して、平均年齢が若く、教育歴や等価所得が高い傾向がみられた。また、手段的日常生活動作が保たれ、主観的健康感が良好、抑うつ症状が少なく、歩行時間が長い傾向にあった。さらに、地域への信頼、互酬性、愛着が高く、友人と会う頻度も多いなど、社会的側面が豊かな傾向がみられた。

男女別の解析では、社会参加は男女ともに高血圧症が少ないことと関連していた。また、女性では糖尿病が少ないこととも関連していた。一方で、脂質異常症については、男女ともに明確な関連はみられなかった。

これらの結果から、高齢層における社会参加は、特に血圧や糖代謝に関する一部の心血管代謝指標と良好に関連している可能性が示唆された。

こちらの結果は現在、論文投稿中であり、詳細な結果は論文公表後に報告する予定である。

定である。

D. 結論

若年層，中年層，高齢層で，地域組織への参加・就労と健康・ウェルビーイングとの関連は年齢層によって異なる可能性が明らかとなった。また，高齢層においては，就労を含む社会参加が心血管代謝指標と良好に関連している可能性が示唆された。

参考文献

1. Takahashi S, Ojima T, Kondo K, Shimizu S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Social participation and the combination of future needs for long-term care and mortality among older Japanese people: A prospective cohort study from the Aichi Gerontological Evaluation Study (AGES). *BMJ Open*. 2019;9(11):e030500. doi:10.1136/bmjopen-2019-030500.
2. Shan Y, Zhao W, Hao W, Kimura T, Ukawa S, Ohira H, Kawamura T, Wakai K, Ando M, Tamakoshi A. Changes in social activities and the occurrence and persistence of depressive symptoms: Do type and combination of social activities make a difference? *Arch Gerontol Geriatr*. 2023;104:104800. doi:10.1016/j.archger.2022.104800.
3. 厚生労働省. 健康日本21（第三次）推進のための説明資料（その2）. <https://www.mhlw.go.jp/content/001426891.pdf> (2026.3.31 アクセス).

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

飯塚玄明，田淵貴大，井手一茂，中込敦士. 社会参加と健康・Well-being 指標との年代別の関連. 第84回日本公衆衛生学会総会，2025年10月30日，静岡市。

Iizuka G, Ide K, Kondo K, Nakagomi

A. Association between Social Participation and Blood Pressure and Blood Glucose among Older Adults. The 36th Annual Scientific Meeting of the Japan Epidemiological Association & The 3rd Joint Scientific Meeting with the IEA Western Pacific Region, January 30, 2026, Nagasaki, Japan.

F. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし

表 1. 年齢別・地域組織参加および就労状況別にみた、2022 年調査時点（プレベースライン）の特性

特性	若年層 (N = 2,985)			
	全体 (N = 2,985)	地域組織参加 あり (n = 729)	就労あり (n = 2,587)	地域組織参加ま たは就労あり (n = 2,636)
年齢, 平均 (SD)	30.5 (5.4)	30.2 (5.6)	30.3 (5.4)	30.3 (5.4)
女性, n (%)	1,451 (48.6%)	292 (40.1%)	1,149 (44.4%)	1,190 (45.1%)
教育歴, n (%)				
9 年未満	57 (1.9%)	2 (0.3%)	37 (1.4%)	38 (1.5%)
10-12 年	517 (17.4%)	122 (16.8%)	413 (16.1%)	424 (16.2%)
13 年以上	2,392 (80.6%)	601 (82.9%)	2,121 (82.5%)	2,157 (82.4%)
欠損	19 (0.6%)	4 (0.5%)	16 (0.6%)	17 (0.6%)
等価所得, 平均 (SD)	394.9 (219.8)	406.3 (218.6)	408.9 (221.1)	406.8 (220.7)
欠損, n (%)	569 (19.1%)	106 (14.5%)	453 (17.5%)	463 (17.6%)
婚姻状況, n (%)				
既婚	1,330 (44.6%)	329 (45.1%)	1,072 (41.4%)	1,108 (42.0%)
死別・離別	53 (1.8%)	18 (2.5%)	50 (1.9%)	52 (2.0%)
未婚	1,602 (53.7%)	382 (52.4%)	1,465 (56.6%)	1,476 (56.0%)
独居, n (%)	750 (25.1%)	187 (25.7%)	715 (27.6%)	717 (27.2%)
人口集中地区 (DID), n (%)				
非人口集中地区	677 (22.7%)	165 (22.6%)	584 (22.6%)	599 (22.7%)
人口集中地区	2,226 (74.6%)	546 (74.9%)	1,934 (74.8%)	1,966 (74.6%)
欠損	82 (2.7%)	18 (2.5%)	69 (2.7%)	71 (2.7%)

SD: 標準偏差

特性	中年層 (N = 5,679)			
	全体 (N = 5,679)	地域組織参加あり (n = 1,269)	就労あり (n = 4,475)	地域組織参加または就労あり (n = 4,696)
年齢, 平均 (SD)	51.1 (7.2)	51.5 (7.5)	50.5 (7.1)	50.8 (7.1)
女性, n (%)	2,628 (46.3%)	555 (43.7%)	1,726 (38.6%)	1,909 (40.7%)
教育歴, n (%)				
9年未満	100 (1.8%)	15 (1.2%)	67 (1.5%)	73 (1.6%)
10-12年	1,453 (25.8%)	275 (21.7%)	1,089 (24.5%)	1,145 (24.5%)
13年以上	4,089 (72.5%)	976 (77.1%)	3,288 (74.0%)	3,447 (73.9%)
欠損	37 (0.7%)	3 (0.2%)	31 (0.7%)	31 (0.7%)
等価所得, 平均 (SD)	432.1 (281.5)	465.3 (284.1)	456.7 (278.6)	453.4 (279.9)
欠損, n (%)	1,147 (20.2%)	204 (16.0%)	842 (18.0%)	790 (18.0%)
婚姻状況, n (%)				
既婚	3,506 (61.7%)	888 (70.0%)	2,717 (60.7%)	2,883 (61.4%)
死別・離別	561 (9.9%)	109 (8.6%)	449 (10.0%)	470 (10.0%)
未婚	1,612 (28.4%)	272 (21.4%)	1,309 (29.3%)	1,343 (28.6%)
独居, n (%)	1,213 (21.4%)	228 (18.0%)	1,010 (22.6%)	1,042 (22.2%)
人口集中地区 (DID), n (%)				
非人口集中地区	1,356 (23.9%)	315 (24.8%)	1,070 (23.9%)	1,120 (23.9%)
人口集中地区	4,211 (74.2%)	923 (72.7%)	3,312 (74.0%)	3,476 (74.0%)
欠損	112 (2.0%)	31 (2.4%)	93 (2.1%)	100 (2.1%)

SD: 標準偏差

特性	高齢層 (N = 3,943)			
	全体 (N = 3,943)	地域組織参加あり (n = 1,763)	就労あり (n = 1,057)	地域組織参加または就労あり (n = 2,367)
年齢, 平均 (SD)	71.3 (4.7)	72.0 (4.6)	69.2 (4.2)	71.2 (4.7)
女性, n (%)	1,923 (48.8%)	940 (53.3%)	356 (33.7%)	1,128 (47.7%)
教育歴, n (%)				
9年未満	82 (2.1%)	23 (1.3%)	21 (2.0%)	38 (1.6%)
10-12年	1,390 (35.3%)	587 (33.3%)	287 (27.2%)	757 (32.0%)
13年以上	2,461 (62.6%)	1,153 (65.4%)	746 (70.8%)	1,569 (66.4%)
欠損	10 (0.3%)	0 (0%)	3 (0.1%)	3 (0.3%)
等価所得, 平均 (SD)	314.1 (204.2)	326.7 (205.6)	396.3 (262.2)	341.0 (221.8)
欠損, n (%)	702 (18.0%)	289 (16.0%)	385 (16.0%)	161 (15.0%)
婚姻状況, n (%)				
既婚	3,041 (77.1%)	1,374 (77.9%)	818 (77.4%)	1,834 (77.5%)
死別・離別	667 (16.9%)	316 (17.9%)	184 (17.4%)	424 (17.9%)
未婚	235 (6.0%)	73 (4.1%)	55 (5.2%)	109 (4.6%)
独居, n (%)	706 (17.9%)	311 (17.6%)	181 (17.1%)	415 (17.5%)
人口集中地区 (DID), n (%)				
非人口集中地区	999 (25.3%)	469 (26.6%)	265 (25.1%)	622 (26.3%)
人口集中地区	2,902 (73.6%)	1,280 (72.6%)	776 (73.4%)	1,721 (72.7%)
欠損	42 (1.1%)	14 (0.8%)	16 (1.5%)	24 (1.0%)

SD: 標準偏差

表 2. 年齢層別にみた地域組織参加・就労状況と 2024 年調査時点の健康・ウェルビーイング指標との関連

		若年層 (N = 2,985)					
		地域組織参加あり			就労あり		
		(n = 729)			(n = 2,587)		
目的変数	地域組織参加なし/ 就労なし						
	Reference	β /RR/OR (95% CI)			β /RR/OR (95% CI)		
	(変数型)						
1. 幸福感・生活満足度							
幸福感	0.00 (連続変数)	– 0.05	(–0.13– 0.03)	–0.03	(– 0.17–	0.12)	
生活満足度	0.00 (連続変数)	– 0.07	(–0.15– 0.01)	0.37 **	(0.22–	0.52)	
2. 身体的・精神的健康							
主観的身体的健康	0.00 (連続変数)	– 0.18	** (–0.26– –0.09)	0.01	(– 0.15–	0.16)	
主観的精神的健康	0.00 (連続変数)	– 0.11	* (–0.19– –0.03)	–0.02	(– 0.17–	0.13)	
孤独感	0.00 (連続変数)	– 0.03	(–0.11– 0.05)	–0.18 *	(– 0.33–	– 0.03)	
BMI	0.00 (連続変数)	– 0.04	(–0.17– 0.09)	0.25	(0.01–	0.48)	
自己申告による高血圧症	1.00 (二値変数)	2.30 **	(1.39– 3.82)	0.47 *	(0.24–	0.93)	
自己申告による脂質異常症	1.00 (二値変数)	1.56	(0.86– 2.82)	0.23 *	(0.06–	0.85)	
自己申告による糖尿病	1.00 (二値変数)	6.24 **	(3.03– 12.88)	0.74	(0.14–	3.84)	
自己申告によるむし歯	1.00 (二値変数)	1.60 *	(1.04– 2.47)	0.59	(0.30–	1.17)	
自己申告によるうつ病	1.00 (二値変数)	2.03 *	(1.19– 3.45)	0.36 *	(0.14–	0.95)	
3. 人生の意味・目的							
人生の意味	0.00 (連続変数)	– 0.14	* (–0.23– –0.05)	0.19 *	(0.02–	0.35)	
人生の目的	0.00 (連続変数)	– 0.08	(–0.16– 0.00)	0.18 *	(0.02–	0.33)	
4. 人格・徳性							
Moral universalism	0.00 (連続変数)	– 0.05	(–0.14– 0.03)	0.27 **	(0.11–	0.43)	
Delayed gratification	0.00 (連続変数)	– 0.02	(–0.11– 0.07)	–0.11	(– 0.27–	0.06)	
5. 親密な社会関係							

友人関係への満足	0.00 (連続変数)	0.06	(–0.03– 0.15)	–0.08	(– 0.24–	0.08)	
人間関係への満足	0.00 (連続変数)	0.06	(–0.02– 0.15)	–0.14	(– 0.30–	0.03)	
友人と会う頻度	0.00 (連続変数)	0.43 **	(0.34– 0.52)	0.05	(– 0.12–	0.22)	
会う友人の数	0.00 (連続変数)	0.27 **	(0.20– 0.34)	0.17 *	(0.03–	0.31)	
情緒的サポート	0.00 (連続変数)	0.07	(–0.02– 0.16)	–0.17	(– 0.34–	0.01)	
手段的サポート	0.00 (連続変数)	0.07	(–0.02– 0.16)	–0.13	(– 0.30–	0.04)	
6. 健康行動							
喫煙	1.00 (二値変数)	1.29	(0.94– 1.76)	0.96	(0.60–	1.54)	
飲酒	1.00 (二値変数)	1.10	(0.91– 1.33)	1.33	(0.73–	2.42)	
歩行時間	0.00 (連続変数)	0.05	(–0.08– 0.17)	0.53 **	(0.32–	0.75)	
外出頻度	0.00 (連続変数)	0.26 **	(0.15– 0.37)	–0.41 **	(– 0.61–	– 0.21)	
健診受診	1.00 (二値変数)	0.95	(0.79– 1.14)	1.25	(0.83–	1.90)	
7. 認知的ソーシャル・キャピタル							
信頼	0.00 (連続変数)	– 0.12	* (–0.21– –0.03)	0.05	(– 0.11–	0.22)	
地域への愛着	0.00 (連続変数)	– 0.07	(–0.17– 0.02)	0.08	(– 0.10–	0.25)	
互酬性の規範	0.00 (連続変数)	0.01	(–0.09– 0.11)	0.32 **	(0.14–	0.51)	

略語： β ，標準化係数；RR，リスク比；OR，オッズ比；CI，信頼区間。

*p < 0.05（ボンフェローニ補正前）；**p < 0.05（ボンフェローニ補正後）。ボンフェローニ補正後の有意水準は p = 0.05/29 = 0.00172 とした。

		中年層 (N = 5,679)					
目的変数	地域組織参加 なし/就労なし	地域組織参加あり			就労あり		
		(n = 1,269)			(n = 4,475)		
	Reference (変数型)	β /RR/OR (95% CI)			β /RR/OR (95% CI)		
1. 幸福感・生活満足度							
幸福感	0.00 (連続変数)	-0.03	(-0.09-	0.02)	0.04	(-0.06-	0.15)
生活満足度	0.00 (連続変数)	0.04	(-0.02-	0.09)	-0.06	(-0.16-	0.04)
2. 身体的・精神的健康							
主観的身体的健康	0.00 (連続変数)	0.11 **	(0.05-	0.17)	0.06	(-0.05-	0.17)
主観的精神的健康	0.00 (連続変数)	0.02	(-0.04-	0.07)	0.07	(-0.03-	0.18)
孤独感	0.00 (連続変数)	0.05	(-0.01-	0.11)	-0.11	(-0.23-	0.00)
BMI	0.00 (連続変数)	-0.06	(-0.12-	0.00)	-0.18 *	(-0.29-	-0.06)
自己申告による高血圧症	1.00 (二値変数)	1.18	(0.90-	1.54)	0.73 *	(0.56-	0.95)
自己申告による脂質異常症	1.00 (二値変数)	1.05	(0.86-	1.29)	1.07	(0.72-	1.60)
自己申告による糖尿病	1.00 (二値変数)	1.31	(0.82-	2.09)	0.47 *	(0.23-	0.98)
自己申告によるむし歯	1.00 (二値変数)	1.07	(0.79-	1.44)	1.44	(0.86-	2.42)
自己申告によるうつ病	1.00 (二値変数)	2.69 **	(1.56-	4.63)	0.23 **	(0.10-	0.52)
3. 人生の意味・目的							
人生の意味	0.00 (連続変数)	0.11 **	(0.06-	0.17)	-0.01	(-0.11-	0.09)
人生の目的	0.00 (連続変数)	-0.04	(-0.10-	0.01)	-0.10	(-0.21-	0.00)
4. 人格・徳性							
Moral universalism	0.00 (連続変数)	0.04	(-0.02-	0.10)	0.04	(-0.08-	0.15)
Delayed gratification	0.00 (連続変数)	0.03	(-0.03-	0.10)	0.08	(-0.04-	0.20)
5. 親密な社会関係							
友人関係への満足	0.00 (連続変数)	0.01	(-0.05-	0.07)	0.05	(-0.06-	0.17)
人間関係への満足	0.00 (連続変数)	-0.10 **	(-0.16-	-0.04)	0.07	(-0.05-	0.18)
友人と会う頻度	0.00 (連続変数)	0.27 **	(0.22-	0.33)	0.09	(-0.02-	0.20)
会う友人の数	0.00 (連続変数)	0.28 **	(0.22-	0.33)	-0.03	(-0.13-	0.08)
情緒的サポート	0.00 (連続変数)	0.05	(-0.01-	0.12)	-0.08	(-0.20-	0.04)
手段的サポート	0.00 (連続変数)	-0.03	(-0.09-	0.03)	-0.19 *	(-0.31-	-0.07)
6. 健康行動							
喫煙	1.00 (二値変数)	1.15	(0.92-	1.45)	0.62	(0.35-	1.11)
飲酒	1.00 (二値変数)	1.06	(0.93-	1.21)	1.13	(0.87-	1.47)
歩行時間	0.00 (連続変数)	0.16 **	(0.07-	0.24)	0.05	(-0.12-	0.22)
外出頻度	0.00 (連続変数)	0.12 *	(0.04-	0.19)	0.02	(-0.12-	0.16)
健診受診	1.00 (二値変数)	0.96	(0.86-	1.06)	0.89	(0.71-	1.11)

7. 認知的ソーシャル・キャピタル

信頼	0.00 (連続変数)	0.01	(-0.06-	0.08)	-0.13 *	(-0.25-	-0.00)
地域への愛着	0.00 (連続変数)	0.08 *	(0.02-	0.14)	0.19 **	(0.07-	0.31)
互酬性の規範	0.00 (連続変数)	0.20 **	(0.14-	0.27)	0.07	(-0.06-	0.20)

略語： β ，標準化係数；RR，リスク比；OR，オッズ比；CI，信頼区間。

*p < 0.05（ボンフェローニ補正前）；**p < 0.05（ボンフェローニ補正後）。ボンフェローニ補正後の有意水準は p = 0.05/29 = 0.00172 とした。

目的変数	地域組織参加 なし/就労なし	高齢層 (N = 3,943)					
		地域組織参加あり			就労あり		
		(n = 1,763)			(n = 1,057)		
		Reference (変数型)	β /RR/OR (95% CI)		β /RR/OR (95% CI)		
1. 幸福感・生活満足度							
幸福感	0.00 (連続変数)	0.00	(-0.05-	0.04)	-0.06	(-0.15-	0.03)
生活満足度	0.00 (連続変数)	-0.02	(-0.07-	0.03)	-0.06	(-0.15-	0.03)
2. 身体的・精神的健康							
主観的身体的健康	0.00 (連続変数)	0.11 **	(0.05-	0.16)	-0.14 *	(-0.24-	-0.03)
主観的精神的健康	0.00 (連続変数)	0.07 *	(0.02-	0.12)	-0.17 **	(-0.26-	-0.07)
孤独感	0.00 (連続変数)	0.07 *	(0.01-	0.13)	0.00	(-0.10-	0.11)
BMI	0.00 (連続変数)	-0.04	(-0.10-	0.02)	0.08	(-0.02-	0.18)
自己申告による高血圧症	1.00 (二値変数)	1.07	(0.91-	1.26)	1.31	(0.88-	1.96)
自己申告による脂質異常症	1.00 (二値変数)	1.10	(0.90-	1.34)	1.13	(0.78-	1.64)
自己申告による糖尿病	1.00 (二値変数)	0.70	(0.40-	1.23)	0.46	(0.17-	1.20)
自己申告によるむし歯	1.00 (二値変数)	1.14	(0.84-	1.55)	1.01	(0.40-	2.53)
自己申告によるうつ病	1.00 (二値変数)	4.04 *	(1.33-	12.28)	0.13	(0.02-	1.06)
3. 人生の意味・目的							
人生の意味	0.00 (連続変数)	0.03	(-0.02-	0.09)	-0.14 *	(-0.24-	-0.04)
人生の目的	0.00 (連続変数)	0.05	(-0.00-	0.10)	-0.14 *	(-0.24-	-0.05)
4. 人格・徳性							
Moral universalism	0.00 (連続変数)	0.06 *	(0.00-	0.12)	-0.19 **	(-0.30-	-0.08)
Delayed gratification	0.00 (連続変数)	0.12 **	(0.05-	0.18)	-0.22 **	(-0.33-	-0.10)
5. 親密な社会関係							
友人関係への満足	0.00 (連続変数)	0.06 *	(0.01-	0.12)	-0.21 **	(-0.32-	-0.11)
人間関係への満足	0.00 (連続変数)	0.05	(-0.00-	0.11)	-0.15 *	(-0.25-	-0.05)
友人と会う頻度	0.00 (連続変数)	0.11 *	(0.04-	0.17)	0.28 **	(0.16-	0.41)
会う友人の数	0.00 (連続変数)	0.22 **	(0.15-	0.28)	0.35 **	(0.23-	0.47)
情緒的サポート	0.00 (連続変数)	0.02	(-0.04-	0.08)	0.11	(-0.01-	0.23)
手段的サポート	0.00 (連続変数)	0.02	(-0.04-	0.08)	-0.01	(-0.13-	0.10)
6. 健康行動							
喫煙	1.00 (二値変数)	0.94	(0.76-	1.15)	0.77	(0.52-	1.14)
飲酒	1.00 (二値変数)	0.99	(0.85-	1.16)	1.31	(0.96-	1.78)
歩行時間	0.00 (連続変数)	0.18 **	(0.08-	0.27)	-0.06	(-0.19-	0.07)
外出頻度	0.00 (連続変数)	0.12 **	(0.05-	0.19)	0.04	(-0.09-	0.16)
健診受診	1.00 (二値変数)	0.98	(0.90-	1.06)	0.94	(0.84-	1.05)

7. 認知的ソーシャル・キャピタル

信頼	0.00 (連続変数)	0.01	(-0.05-	0.07)	0.04	(-0.08-	0.15)
地域への愛着	0.00 (連続変数)	-0.06 *	(-0.13-	-0.00)	0.01	(-0.10-	0.12)
互酬性の規範	0.00 (連続変数)	0.02	(-0.04-	0.09)	-0.03	(-0.15-	0.09)

略語： β ，標準化係数；RR，リスク比；OR，オッズ比；CI，信頼区間。

*p < 0.05（ボンフェローニ補正前）；**p < 0.05（ボンフェローニ補正後）。ボンフェローニ補正後の有意水準は p = 0.05/29 = 0.00172 とした。